

チームZAITAKU 新メンバー紹介



看護師
たかす さ
高洲 なぎさ

- ◆出身地…四日市市
- ◆趣味…旅行、読書
- ◆夢…

ダイビングのライセンスをとって、いろいろな海に潜りたい。

- ◆1番楽しいとき…

友達と遊んでいる時。

- ◆最後に一言…

学生の頃から興味があった在宅医療の現場で働けてうれしく思います。患者さん宅に訪問する度に患者さんやご家族から学ばせていただくことばかりですが、これから経験を積んで少しでも皆さんのお役に立てるよう努力していきたいです。

在宅医療研修を終えて…



吉川 大治 先生

約1カ月間、訪問診療に同行し研修させていただきました医師の吉川です。これまで急性期総合病院に勤務してきました。訪問診療では医療者と患者さんの距離の近さに大変驚きました。物理的な距離では入院設備のある病院の方が当然近いわけですが、ご自宅にて診療させて頂き24時間体制を敷くことが患者さんとの心の距離を大変に近くしていることを実感致しました。私も愛知県一宮市に訪問診療のクリニックを開業致します。患者さんとの心の距離が近い診療を心掛けていきたいと思っております。初めてのことでだけでしたが、患者さんやクリニックスタッフの方々に支えて頂き研修を終えることができました。ありがとうございました。

ケアマネだより

～素敵なお母さん～

花壇の手入れや野菜づくりが大好きでいつもご自宅の庭には四季の花や作物がイキイキと育っています。6月の梅雨の時期になるとあかつき台4丁目の沿道にはたくさんの紫陽花が花を咲かせます。この紫陽花は30年前に越してきたSさんがご主人と一緒に毎年植え続けてきた花で、今では45本の花が所狭しと賑わいを見せてくれます。

以前はボランティアで近所の方と公園の掃除をしたり、踊りや民謡などを習われていました。人と話するのが好きで、週2回通っているデイサービスでは職員や仲間の人たちから「お母さん」と呼ばれ親しまれています。いつも笑顔が絶えないお母さんですが、数年前に交通事故にあい体に不自由を生じるようになりました。転倒を何度も繰り返し、けがをすることもあります。しかし、本来の前向きな性格で今でも民謡を歌ったり、山菜を使った漬物やおこわを作り家族や皆さんにふるまっています。漬物を作るときは朝3時から煮炊きをするそうです。いつも「一生懸命」なお母さん。Sさんの明るい笑顔でたくさんの方の気持ちを癒してください。そして、怪我のないようにこれからも美味しいものを作ってくださいね。



看護師だより

Yさんに初めてお会いしたのは今年の3月。2年前に癌と診断されてから様々な検査・治療を受け、乗り越えてこられました。24時間高カロリー点滴をするための管（鎖骨の下にあります）、お腹には人工肛門という状態ですが、買い物や外出に出掛けたり、アクティブに日々の生活を楽しみながら自宅療養されています。このYさんを支えておられるのがご主人です。点滴の交換、人工肛門の袋の交換なども覚えられ、きちんと管理しておられます。外出の時はYさんのお体を気遣いながら、いつも一緒に出掛けられています。Yさんはとても明るい方で、いつも笑顔で迎えてくださり、外出されたこと、食べたものなど楽しい話を聞かせて下さいます。5月には、愛犬フェイス君も連れて1泊2日の蒲郡旅行を楽しめました。Yさんは絵画がお好きで美術鑑賞へ行かれたり、花を買いに市場に行かれたりもします。いつもお部屋にはユリの花が

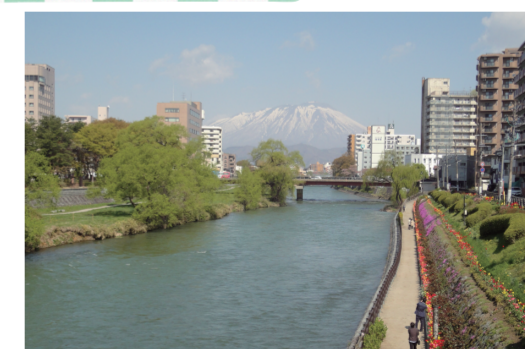
飾られておりいい香りに包まれています。

Yさんは「この病気になって、今までやりたかったことができませんでした。夫の優しさや介護してくれるありがたさとか、いろいろなことに改めて気づきました」「今が一番幸せです。たくさんの人に会えて、親切にしてもらって、本当にうれしいです。」このような話を聞き、私たちも胸がいっぱいです。私たちのほっこりYさんに会えたこと、Yさんの人生に関わらせていただいたこと、ご縁をいただけたことに感謝です。「明るく前向きに、したいこと・やりたいことをして免疫を上げることが大切です」という私たちの持論を、身をもって実践しておられるYさん、ありがとうございます。

Yさん、これからもいろいろなところに出かけ、話を聞かせてくださいね。



日本在宅医学会もりおか大会



4月25・26日、岩手県盛岡市にて【生き方=逝き方を支える在宅医療】をテーマとした学会が開催され、在宅医療の現状・問題点・取り組み等、参加した12名のスタッフは多くのことを学びました。後日、院内で報告会を行い、私たちが患者様と関わらせていただく中で、どのようにサポートすれば、患者様が自分らしく生きていけるのかを、改めて話し合い考える良い機会となりました。